

事務事業名	市税賦課事業	所属部	市民環境部	所属課	税務課
政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉	所属G	固定資産税G 市民税G	課長名	高橋澄人
施策名	〈08〉健全財政の維持	担当者名	宮川 純 荒木公栄	電話番号	0854-40-1034 (内線) 2214・2215・2216
目的 対象	市の財政	意図	健全に運営する。	会計	款
基本事業	〈023〉積極的な財源確保	予算科目	0:1 1:0 0:1 項 目 中事業 中事業	大事業名	大事業名
目的 対象	予算	意図	財源を確保する。	中事業名	中事業名
				賦課徴収事業	賦課事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
納税義務者	適正課税

③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)

事業期間	1. 市税の賦課 (1)市県民税 (2)固定資産税 (3)軽自動車税 2. 申告納付 (1)法人市民税 (2)市たばこ税 (3)入湯税 3. その他 (1)国有資産等所在市町村交付金
☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (H16 年度～) ☐ 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	

④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)

(1)個人市民税の調定額 1,439,348千円 納税義務者数 18,163人 (2)固定資産税の調定額 1,808,023千円 納税義務者数 16,230人 (3)軽自動車税の調定額 158,786千円 課税台数 22,068台	基幹系税システム等の改良・改修を行っている。
---	------------------------

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (計画)
ア 個人市民税 調定額	千円	1,398,588	1,420,778	1,439,348	1,241,500
イ 固定資産税 調定額	千円	1,777,731	1,802,526	1,808,023	1,742,000
ウ 軽自動車税種別割 調定額	千円	152,590	155,986	158,786	158,935
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
総事業費 47,279千円 ・会計年度任用職員賃金 3,296千円 ・需用費 7,065千円 ・役務費 7,345千円 ・委託料 26,027千円(給報電算パンチ委託、基幹系システム改修他) ・使用料及び賃借料他 2,159千円 負担金他 1,387千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円	30,040	50,732	42,080
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円		5,199	8,823
	事業費計	千円	30,040	50,732	47,279	47,990

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	適正な課税につながった。また、税目追加により、固定資産税及び軽自動車税の納付方法が、クレジット支払い及びスマートフォン決済が可能となり、市民へのサービス向上に繋がった。
② 事業実施するうえでの課題	賦課事務は、電算システムによる部分が大きいためより迅速で正確なシステムの改修・構築が必要となる。
③ 課題解決に向けた改革改善等	税制改正は毎年行われており、それらに対応できる柔軟なシステム構築や改修が必要となる。